

二瀬窯業株式会社
関東技術課

ブリックモルタルDS・Tタイプ 目地詰め施工要領書

■ 材料

- 1.ブリックモルタルDS・Tタイプ : 25kg 袋入り
- 2.練り水 : 4.0L～4.5L

■ 目地詰め(塗りこみ目地)

- ①ドライアウト防止のため必要に応じて目地部に水湿しを行ってください。
- ②モルタルミキサやモルタル用かくはん機などの機械器具を使用し、ブリックモルタルDS・Tタイプ 25kg に、水道水 4.0L～4.5L 加え十分に練り混ぜてください。
練り混ぜたモルタルは 40 分以内に使用してください。

調合

ブリックモルタルDS・Tタイプ 1袋 + 水道水 4.0L～4.5L

- ③ 練り混ぜた材料を、ゴムコテで押さえるように目地部に塗り込み、目地内部に空隙が残らないよう繰り返し充填してください。
- ④ タイル汚れの拭き取りは水引き具合を見計らい、スポンジに一度水を含ませて水が出なくなるまで固く絞り、タイル表面を一度荒拭きして汚れを軟らかく戻してください。
- ⑤ スポンジのきれいな面で目地の通りに対して斜めに拭き取ってください。
- ⑥ 汚れたスポンジは水洗いを行い、固く絞って③の拭き取りを繰り返してください。

《注意》	・拭き取り後に目地表面に浮き水が残存していると色ムラの原因になりますので、浮き水が残らないようご注意下さい。(拭き取り時のスポンジの水分に注意してください。) ・場所によって拭き取るタイミングに差がでると、色ムラの恐れがありますのでご注意下さい。
------	---

- ⑦施工後は風雨にさらされないようシート掛けなどの養生を施してください。

■ 白華現象が起こった場合の処置

- ①サッシなどに塩酸がかからないよう要所に養生を施してください。
- ②タイル面・目地面全体を十分に水で濡らしてください。
- ③表面が十分に濡れている間に酸洗いを行ってください。

(工業用塩酸を水で30倍に希釈したものを使用し、ブラシなどで白華部分をこする。)

※濃い希釈の工業用塩酸で酸洗いをを行うと、目地表面部分のセメントが溶け、骨材が多く露出します。その場合、骨材の色が目立ち、色調に差がでます。

そのため、濃い希釈液では使用せず、30倍希釈液を使用してください。

また、ブラシでこすり過ぎることでも、目地表面部分のセメントが溶け、骨材が多く露出します。

一度目立たない箇所では酸洗いをし、仕上がりを確認してから酸洗いを行ってください。

- ④もう一度水洗いをおこなって、塩酸をきれいに洗い流してください。

■ 諸注意

- ①目地詰め後の酸洗いの濃度は、工業用塩酸を水で30倍に希釈したものとして下さい。濃度が濃いと、目地表面のノロ分が流れてしまい、骨材が多く露出するため、仕上がりが悪くなり、色調が異なって見える場合があります。

- ②仕上げ時のモルタルの水引き具合の違いによって、仕上がり色調に差が出ます。

モルタルの水引き具合は、気温・湿度・日射・風等によって変わります。

そのため、施工したモルタルで水引き具合を確認しながら、同じタイミングで仕上げてください。

目地詰め後にモルタルが柔らかい時に仕上げを行うと、白華が発生する可能性が高くなります。また、固く締まった状態で仕上げを行うと色調が濃くなります。

色調がバラついたものを同じ色調にするのは非常に困難です。

- ③タイルに付着したモルタルは、早いうちに水を固く絞ったスポンジで除去してください。

モルタルが硬化してしまうと酸洗いでしか除去できなくなります。過度な酸洗いをを行うと仕上がり色調差がでるため、必ず早いうちに除去してください。

- ④目地詰め工事に際しては、タイル張付け後、十分な養生期間を確保してください。

- ⑤混練水の他、弊社が指定した材料以外との混合・混練はしないでください。
- ⑥強度などモルタルの物性に悪影響を及ぼすため、水を加えて練り直しをしないでください。
- ⑦色調を一定に保つため、水量の管理は厳密に行ってください。
- ⑧色調が変化することがありますので、練り直しはしないでください。
- ⑨固まった材料の使用は避けてください。
- ⑩開封後の材料は使い切ってください。
- ⑪使用後の道具・工具類は速やかに水洗いしてください。
- ⑫タイル・レンガ等の材質や表面の仕上げ等によっては、材料がタイル・レンガ等の表面に付着したまま乾燥すると、材料が取れにくくなることがあります。
- ⑬材料の保存は、地面や床へ直置きしないようパレットなど使用して湿気を避け直射日光や雨掛かりのないようにシート掛けなどを施してください。
- ⑭降雨・降雪時の施工は行わないで下さい。
- ⑮気温が3℃以下及び3℃以下になると予想される場合は、施工を行わないで下さい。
- ⑯施工環境などの違いから当社配布の実物サンプルとは色調に差異が生じることがありますことをご了承下さい。
- ⑰ブリックモルタルDSは白華現象が極力発生しないよう調合を施していますが、条件がそろえばやむなく発生してしまうこともございます。まずは、以下の事項に十分留意して施工を行って下さい。
 - ・ 指定水量より多量の水を混入しないで下さい。
 - ・ 固くなったモルタルへの再加水は行わないで下さい。
 - ・ 仕上げのタイミングに十分注意して下さい。
 - ・ 目地仕上げ時に水を使用しないで下さい。
 - ・ 施工直後に水濡れがないようシートなどで保護して下さい。